

令和6年度 米子市埋蔵文化財センター事業報告書

1 管理業務の実施状況

1 原始・古代の歴史を学ぶ機会の提供

- (1) 米子市などの考古資料及び発掘調査の進め方などを展示し、原始・古代をはじめとした郷土の歴史への関心を高めた。また、常設展示の入れ替えを随時行い、展示の充実を図った。
- (2) 講座、講演会及び考古学教室の実施によって原始・古代への関心を高めた。
- (3) 史跡ガイドウォークの実施により身近な郷土の歴史への関心を深めた。
- (4) 見て・触れて・作る体験教室、出前講座などを通して、古代への興味・関心を高めた。

2 埋蔵文化財資料の整理・保管・研究

- (1) 米子市が所有する考古資料や記録類を適切に整理し収蔵保管した。
- (2) 新着図書、寄贈図書を整理しデータ登録して貸出・閲覧に供した。
- (3) 収蔵資料を貸出や研究利用に供し、資料の活用を図った。
- (4) 未報告の収蔵資料を再整理し、調査研究に努めた。
- (5) 県外の博物館、大学、研究機関等との調査研究の連携を図った。

3 情報の発信

- (1) 事業のチラシを配布して広報に努めた。
- (2) 施設のホームページで施設や行事の情報を発信し、遺跡紹介を行った。
- (3) 「埋蔵文化財センターたより」を年4回発行し情報提供に努めた。
- (4) 米子市などの発掘調査の最新情報を展示、発信した。

4 連携事業の促進

- (1) 鳥取県ミュージアムネットワークに加盟し、他館との連携を図った。
- (2) 古代体験、学習の受け入れ等、学校と公民館の連携を図った。
- (3) 米子市立山陰歴史館、上淀白鳳の丘展示館、米子市との連携を図った。
- (4) 県外の博物館、大学、研究機関等との調査研究の連携を図った。

5 施設管理の充実

- (1) 施設周辺の除草、植栽の剪定、伐採、花壇整備などを行い環境美化を図った。
- (2) 倉庫の分電盤の移設を実施した。

2 事業の実施状況

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	内容
鑑賞事業			
常設展 米子の遺跡と発掘調査	通 年	1,688	米子市内の遺跡から発掘調査された出土品と発掘調査の方法の展示を通して、米子の原始から現代までの歴史への理解を深めた。
最新発掘成果速報展	随 時	-	発掘調査の情報を速報した。
教育普及事業			
史跡ガイドウォーク1「尾高城跡」 共催：米子市立山陰歴史館、 上淀白鳳の丘展示館	6月22日(土)	11	市内の史跡を解説付きで案内した。 (フレイル予防事業)
史跡ガイドウォーク2「尾高城下町」 共催：米子市立山陰歴史館、 上淀白鳳の丘展示館	11月16日(土)	7	
史跡ガイドウォーク3「米子城下町」 共催：米子市立山陰歴史館、 上淀白鳳の丘展示館	12月21日(土) 3月15日(土) 悪天候のため延期	13	
史跡ガイドウォーク4「米子城跡」 共催：米子市立山陰歴史館、 上淀白鳳の丘展示館	3月22日(土)	21	
考古学講演会 第1回 「国史跡 尾高城跡について」	9月29日(日)	20	講師：高橋主幹学芸員 会場：米子市文化ホール研修室
考古学講演会 第2回 「縄文時代の米子について」	10月19日(土)	8	
考古学講演会 第3回 「小町越城野原第11遺跡の発掘調査 成果」	3月30日(日)	14	
大原川平山たたら跡 発掘遺跡見学会	10月5日(土)	28	日南町大原川平山たたら跡の発掘調査成果の見学会を実施した。
連携事業			
城下町を探検しよう 共催：米子市児童文化センター、 米子市立山陰歴史館	5月25日(土)	4	米子城の城下町を巡る事業を実施した。
考古学者になろう 共催：米子市児童文化センター、 米子市立山陰歴史館	8月3日(土)	22	考古学に関するワークショップを実施した。
体験学習事業 つくって！やいて！ 完成させよう古代のどき 共催：鳥取県立むきばんだ史跡公園、 上淀白鳳の丘展示館	7月28日(日)	(19)	古代の土器づくり体験を実施した。

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	内容
第54回米子盆踊り大会・ 米子市公会堂夏祭り 主催：米子市、米子市公会堂	8月14日(水)	(900)	第54回米子盆踊り大会の開催に協力し、米子市公会堂夏祭りにわたあめコーナーを出展した。 会場：米子市公会堂 協力：米子市児童文化センター
財団施設連携事業 米子市文化財団 カルチャー・フェスティバル2024 「もっと知りたい！米子城」	9月16日 (月・祝)	フェス全体 (2,155) 478	当財団が管理・受託している各施設が集まり、特色を活かしたワークショップ等を実施した。米子市文化ホール、山陰歴史館と合同ブースで「もっと知りたい！米子城」と題して米子城VR体験や米子城跡の出土品や写真展示を行った。 会場：米子市公会堂
とっとり弥生の王国 青谷かみじちフェスタ 主催：鳥取県立青谷かみじち史跡公園	11月3日(日)	フェス全体 (1,500) 37	「ミニ石包丁づくり」を出展した。 会場：鳥取市青谷町農林漁業者トレーニングセンター
第51回郷土の歴史教室 「能楽見ち知るべ」 主催：米子錦ライオンズクラブ 共催：米子市、米子市教育委員会、 米子市児童文化センター	2月24日(月)	(30)	京都から能楽師を講師に招き能楽のワークショップを行った。 会場：米子市児童文化センター
企画展 「再発見資料 -ガラス乾板に記録された戦前の米子-」 共催：米子市立山陰歴史館、 上淀白鳳の丘展示館	1月26日(日) ～ 3月30日(日)	(2,313)	米子市日野町でタムラ写真館を運営していた故千村廣三郎氏が写した、昭和17年刊行の『米子市史』掲載写真など、貴重な戦前の米子市内の写真を中心に展示した。
インターンシップ受入	6月26日(水) ～28日(金)	(3)	鳥取県立米子南高等学校の生徒を受け入れて土器の接合などを体験。
古代学習受入	2月26日(水)	(34)	尚徳小学校の児童を受け入れ火起こし体験などを実施。
調査研究・保管・活用			
調査研究・整理保管	通 年	-	寄贈図書・資料、尾高城跡、米子城跡三の丸ほか資料の調査・整理・研究・保管を行った。
収蔵品貸出	通 年	(2)	収蔵品や写真を島根県立古代歴史博物館へ貸出した。貸出1件
収蔵品等研究利用	通 年	(18)	大学研究機関、調査研究者等の収蔵品調査・実見に対応した。
図書・報告書貸出	通 年	0	
施設・設備利用	通 年	568	研究会・研修会等での施設・設備利用9件

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	内容
情報提供事業			
埋蔵文化財センターたより発行	年4回		- 調査情報や遺跡の紹介やイベント情報の提供などを行った。
刊行物の制作・発行	3月		- 福市考古資料館・埋蔵文化財センターの年報を発刊した。
ホームページ	随時		- ホームページを更新し、施設イベント情報やセンターたよりを提供した。
図書等の販売	通年		- 『上淀廃寺の美』や米子城ペーパークラフト、勾玉の材料等を販売した。
入場者・参加者数合計(人)		2,919	()内の人数は除く

3 施設の利用状況

開館日数 245日

常設展入場者 1,688人、事業参加者 663人、施設設備利用者 568人 合計 2,919人

4 収入実績

項目	収入額(円)	備考
事業収入	16,900	自主事業資料代
雑収入	59,700	冊子売捌
合計	76,600	